

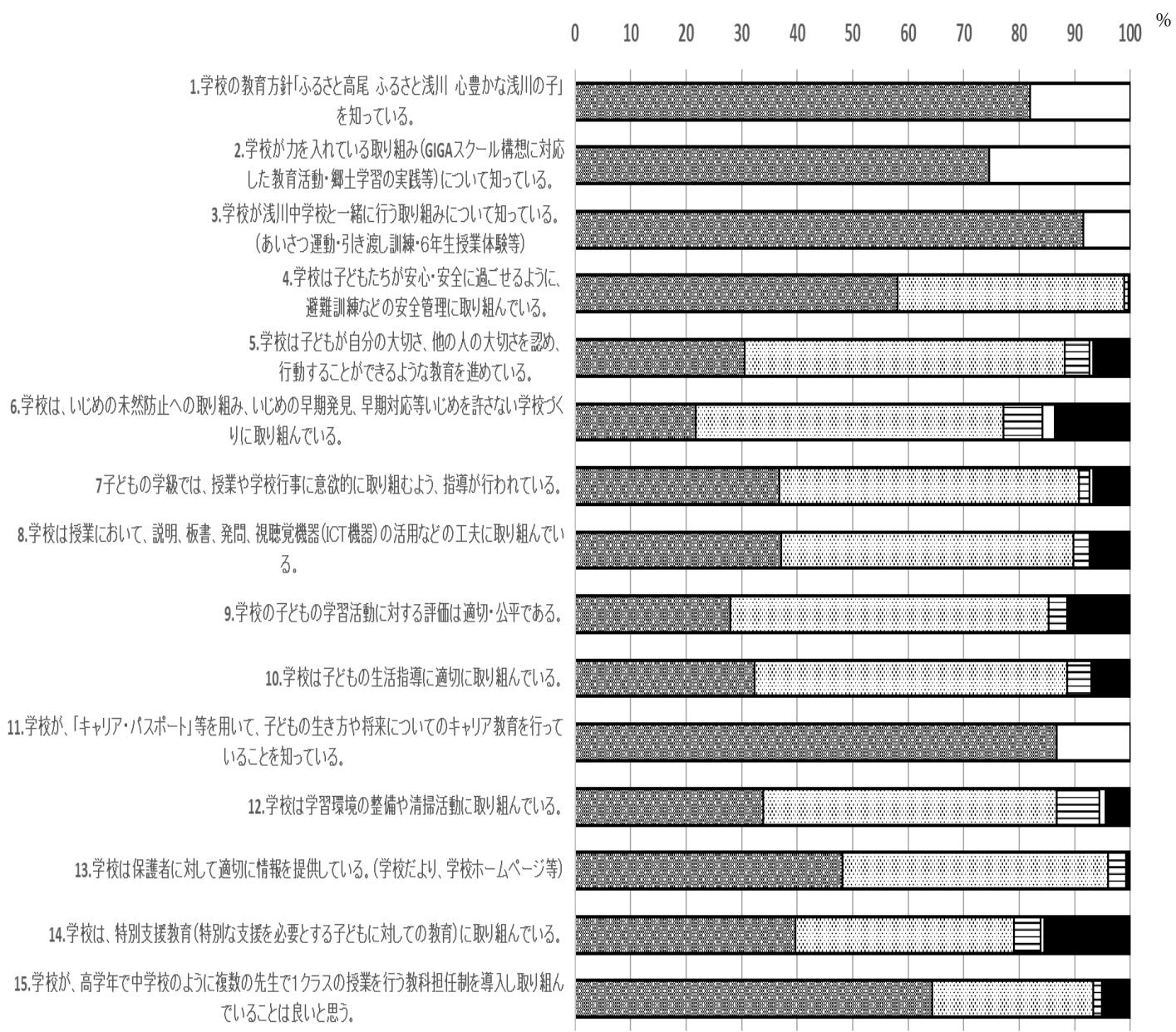
7月にご協力いただいた学校評価の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。

I 保護者アンケート結果について（1～2ページ）

II 児童アンケート結果について（3～4ページ）

III 学校関係者アンケート結果について（5ページ）

I 保護者アンケート結果について



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

設問 10 「学校は子どもの生活指導に適切に取り組んでいる。」

→ 昨年度の 2 月の調査で好意的評価が大きく上昇し、今回も高い評価をいただきました。不登校、日々の生活態度など、様々な生活指導の事案について、学級担任だけでなく学校全体で連携して対応していることが、保護者の皆様にも伝わった結果だと考えております。今後も、学校全体での共有に加え、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、様々な専門家との連携を行い、子どもたちの学校生活を支援していきます。

設問 11 「学校が、「キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。」

→ 昨年度 10 月アンケートの 80% から、昨年度 2 月には 90% へと大きく上昇し、今回の調査でもこの高い水準を維持しています。昨年度の学校だよりで「キャリア・パスポート」について詳しくご説明したこと、皆様のキャリア教育への理解が深まった結果だと考えております。この「キャリア・パスポート」は小中一貫教育の取り組みでもあり、中学校へ引継がれていきます。年度末にはご家庭に戻し、お子様の 1 年間の成長を確認できるものになっています。今年度も是非ご確認いただけたらと思います。

設問 12 「学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。」

→ 以前より「校舎が汚れている。」などのお声がありました。昨年度の 2 月に一時的に評価が減少しましたが、今回の調査で大幅に回復しました。昨年度の反省から、廊下掃除で使うほうきやぞうきんに加え、モップも導入しました。その結果、以前よりもきれいになっています。また、PTA からもご協力いただき、学期末には児童の掃除時間に保護者の方がボランティアに来てくださるなど、一緒に清掃する活動も始まりました。本当にありがとうございます。今後も、様々な工夫をしてよりよい学習環境づくりに努めてまいります。

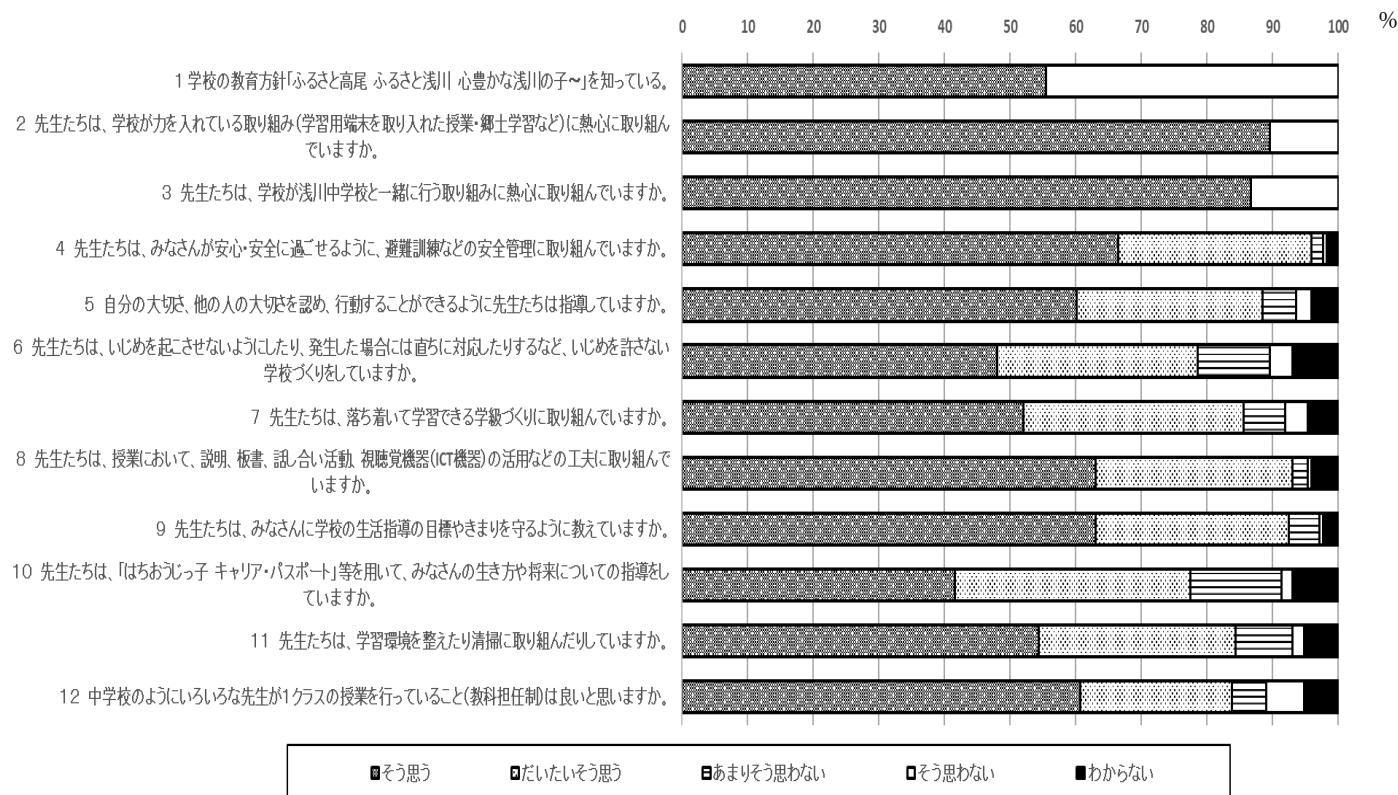
設問 15 「学校が、高学年で中学校のように複数の先生で 1 クラスの授業を行う教科担任制を導入し取り組んでいることは良いと思う。」

→ 昨年度より追加されたアンケート項目です。本校では、文科省より打ち出されている高学年への教科担任制の導入について、昨年度に続き東京都から指定を受けて取り組んでいるところです。取り組み始めて 1 年半になりますが、9 割を超える肯定的な回答が継続しています。教科担任制のメリットである、「専門性の高い活教科指導」や「多面的・多角的な児童理解」など、今後も教科担任制の効果を活かしていきます。

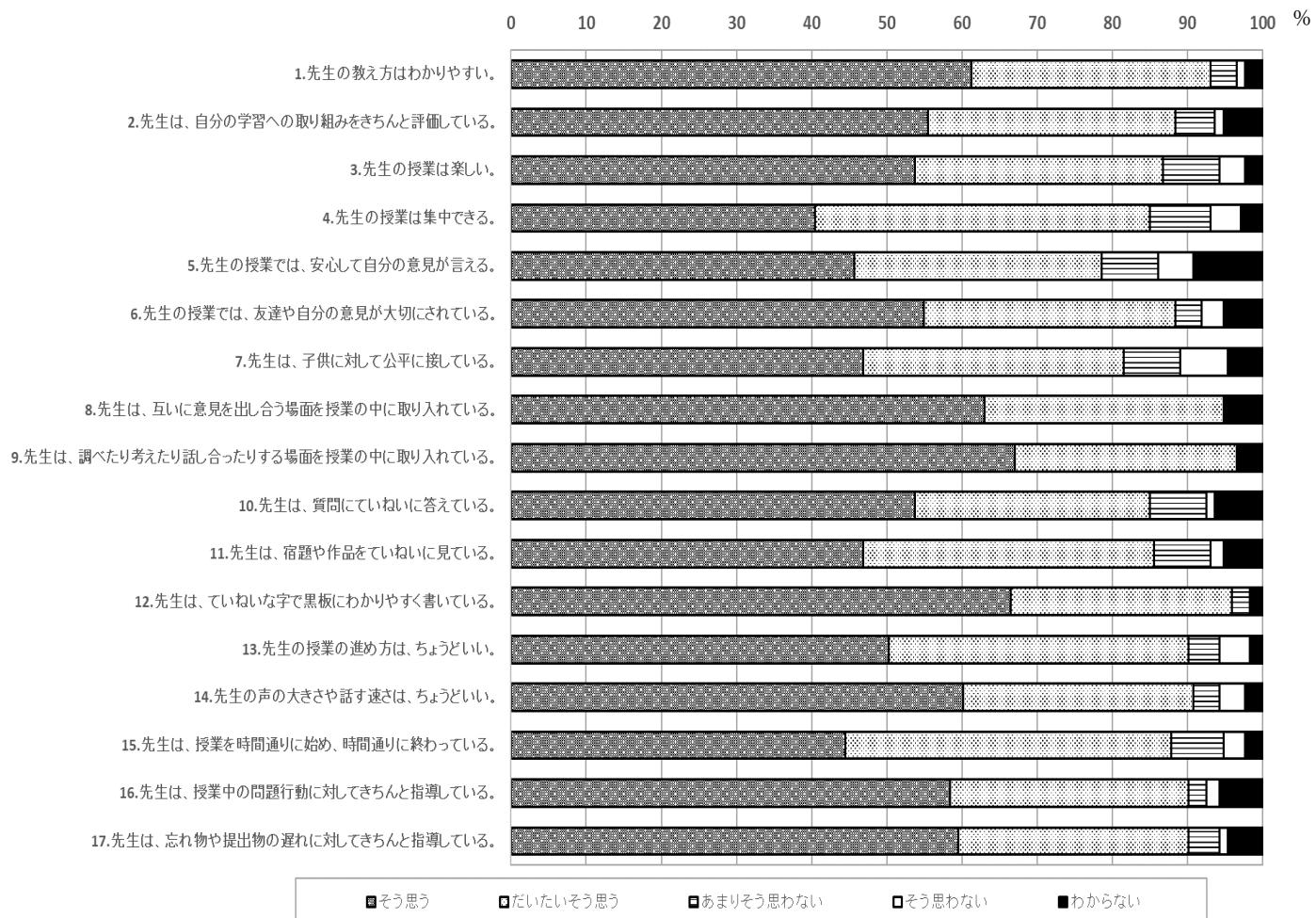
II 児童アンケート結果について

※児童へのアンケートは、5・6年生を対象に行っております。

①児童アンケート



②児童授業評価アンケート



多くの項目で、肯定的な回答をした児童が8割を超える結果となりました。

①児童アンケート

設問5 「自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるよう先生たちは指導していますか。」

→ 昨年度と比べると1割ほど増加する結果となりました。増加した要因を断定することは難しいですが、昨年度より導入された教科担任制において、担任だけではなく多くの先生から授業を受ける中で、自他ともに大切さを感じられる指導ができたことは、我々教員にとって一貫した思いが児童に伝わったことと捉え、うれしく思います。今後も自他ともに大切にする心を育んでまいります。

設問9 「先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいますか。」

→ 昨年度から微増傾向が続き、高い評価を維持しています。GIGAスクール構想に基づき、先生方がICT機器の活用方法を工夫し、児童の学習意欲を引き出す努力をしていることが、児童にも伝わっているようです。GIGA担当を中心に、校内で定期的にICTに関する研修を行っています。今後も学習に活用していくように努めてまいります。

設問12 「中学校のようにいろいろな先生が1クラスの授業を行っていること（教科担任制）は良いと思いますか。」

→ 昨年度2月の調査で80%を超え、今回も引き続き高い評価でした。6年生にとって、中学校への進学をスムーズにするためのよい経験になっているようです。今後も児童の声に耳を傾け、メリットを最大限に活かせるよう努めてまいります。

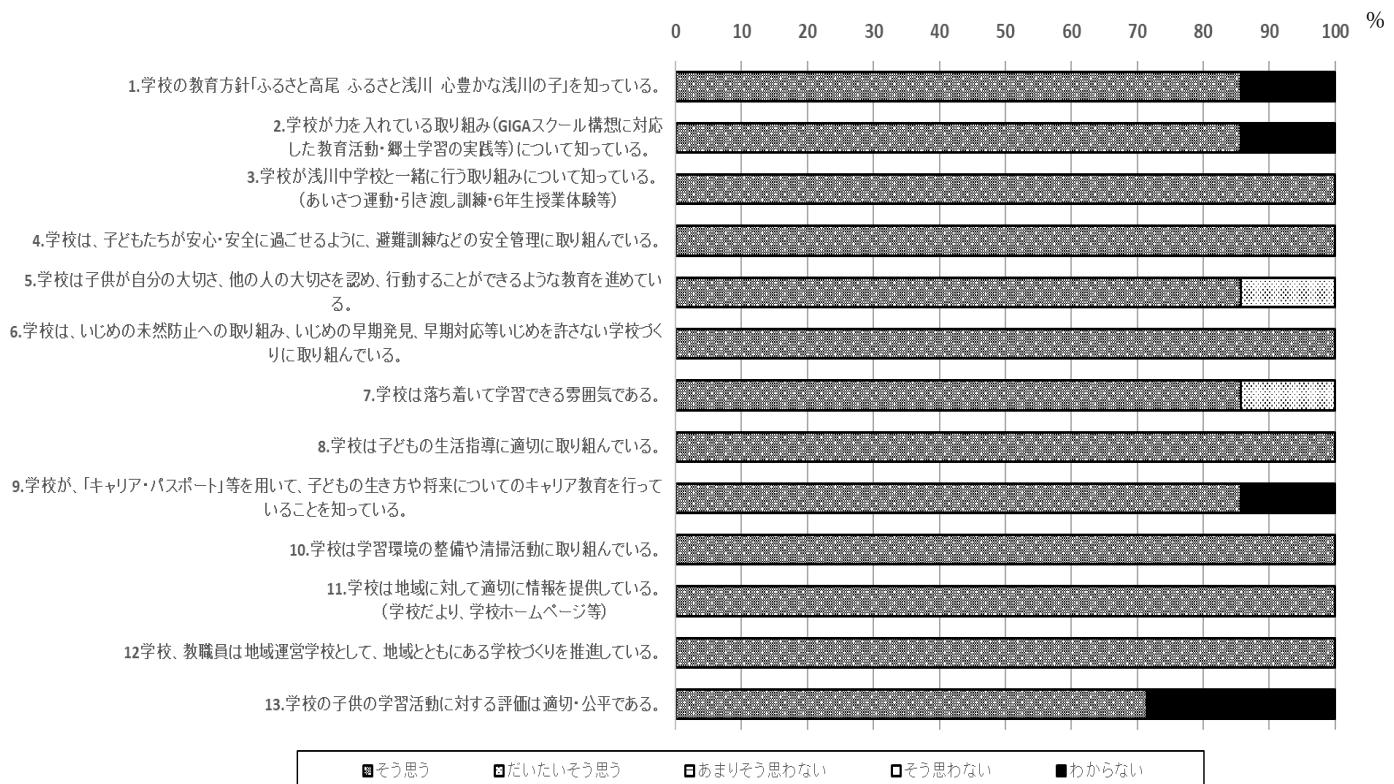
②児童授業評価アンケート

→ 全体的に肯定的な回答が8割近くを超える結果となりました。これは、授業だけではなく、教員の日々の児童への関りにも反映されたのだと思います。

その中でも、設問8の「先生は、互いに意見を出し合う場面を授業の中に取り入れている。」の項目は、肯定的な回答が大きく上昇し、90%に迫る勢いです。

今年度の校内での研究テーマでも、『学び合い』に力点を置いて取り組んでいるところです。今後も意見を出し合う学び合いの場面を積極的に取り入れた授業を行い、子どもたちの学力向上のため、学校全体で研究をすすめてまいります。

III 地域・学校関係者アンケート結果について



地域から多くの項目で、昨年度同様、肯定的な評価をいただいております。誠にありがとうございます。地域や学校関係者の皆様と連携する機会を積極的に設けたことが、共に学校を創り上げるという意識の醸成につながっているようです。また、学校だよりやホームページなどを通じた積極的な情報発信が、地域の皆様の学校への理解を深めることにつながっていると思います。

この度は、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。今回の結果を真摯に受け止め、これからも教職員一同、子どもたちの成長と教育環境の充実に努めてまいります。

自由記述にもたくさんのご意見をお寄せいただきありがとうございました。学校として回答することができる内容等につきましては、学校だよりで随時お知らせしていきます。ご協力ありがとうございました。